



## フェーン現象って何なの

### 熱くて乾燥した風が、山からふいてくる

春先にシベリア高気圧が弱まってくると、日本海に低気圧が発生します。そうすると、太平洋側から湿った空気がふきこみます。太平洋側からふきこんできた湿った空気は日本の中央を南北にはしる山脈にぶつかって雲をつくり、雨を降させます。この雨を降らせた空気が、山脈をこえて下降するにつれて、高温で乾燥した風になります。この山風のことをフェーンとよび、この現象をフェーン現象といいます。湿った空気と乾燥した空気、気温の変化がちがうために、起きています。

もともとは、スイスやオーストリアの谷間にふく、高温で乾燥した風のことをフェーンとよんでいたことから、日本でも使われるようになりました。

### フェーン現象は、いろいろな被害をもたらす

この高温で乾燥した風がふきつけるために、大火事や、雪がとけて洪水やなだれなどが起きています。日本海に強い低気圧があったり、台風が通るときは、日本海側の各地に、フェーン現象が起きやすくなります。（監修・村山 貢司）

